

# MV-22B オスプレイ



# 概要

- 序論
- 安全性
- 飛行能力
- 飛行モード
- 運用成功例
- 日本におけるMV-22Bオスプレイ





# 序論



- MV-22Bオスプレイは、ヘリコプターの垂直離着陸と、固定翼機の飛行速度や範囲、両方の機能を持ち合わせている。
- 主に飛行機モードで飛行し、ハイスピード、高高度飛行が可能。
- ヘリコプターと比べて、比較的音が静か。
- 海兵隊と同盟国双方にとって有益。

# 序論

- V-22オスプレイは、アフガニスタンでの戦闘運用中だった2011年2月に、飛行時間が100,000時間を超えた。



- 強襲輸送、戦傷者救難活動、人道支援・災害救助、航空機・人員の戦術的回収作戦などの戦闘機能に優れている。

# 安全性

- アメリカ海兵隊の過去10年間の戦闘回転翼航空機で、最も低いクラスA事故率。
- 2002年5月～現在：70,000を超える飛行時間。  
(MV-22B オスプレイ全飛行時間の97%) – 死亡事故0。
- VIPをサポートする特別任務：
  - オバマ大統領がイラクでの大統領選キャンペーンの際搭乗。
  - 国会議員、政府機関長官、米軍参謀長らが搭乗。

•



# MV-22B オスプレイの機能

最高速度	280 較正対気速度(約 518Km/h)
最高巡航速度	262 較正対気速度(約 485Km/h)
戦闘行動半径	輸送人員24人に対し 325 海里
航続距離	7200 ポンド(約 3,266Kg)に対し 700 海里
輸送人員	24 人
乗組員	3 ~ 4 人
貨物 (内部)	20,000 ポンド (約 9,072Kg)
貨物 (外部)	12,500 ポンド (約 5,670Kg)
ローター直径	38 フィート(約 11.6m)
最大高度	24,700 フィート(約 7,529m)
重量 (空の状態)	35,000 ポンド (約 15,876Kg)

# 飛行モード

## 垂直離着陸

- 垂直離着陸: ヘリコプターのような機能をもつ。



## 変換モード

- 垂直離着陸モードから飛行機モードに変換する。



## 飛行機モード

- ハイスピード
- 高高度
- 長距離
- 主な飛行形態は飛行機モード



# 運用成功例

海兵遠征隊部隊 (MEU) に 4 回配置される



ハイチでの人道支援・災害救助



リビアで撃墜された米パイロットの救出

「不朽の自由作戦」で4回、「イラクの自由作戦」支援で3回配置される。



# 日本におけるMV-22B オスプレイ



- CH-46Eヘリコプター24機を、MV-22Bオスプレイ24機と交換。
- 最初の MV-22B オスプレイ部隊は2012年6月以降に到着。
- 代替施設が完了するまでの間、普天間飛行場から展開。
- MV-22B オスプレイは、CH-46E に比べて比較的音が静か。
- アメリカ海兵隊は、日本での配備・運用に際し、オスプレイの環境調査を実施している。
- オスプレイの日本配備は、第三海兵遠征軍の能力を高め、日本の防衛や同盟国としての役割成就に貢献できる。

